

2021 年度第 4 回価格審査会の開催について

2021 年度第 4 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2021 年 7 月 14 日(水) ~16 日 (金)	
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	橋本 雅宏	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：今井 豊
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2021 年度第 3 価格審査会議事録(案) 確認

2021 年度第 4 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1. 「建設物価」 8 月号、「Web 建設物価」 8 月号の価格動向	
・ 価格が上伸した資材 (工事費)	
【Web 建設物価】	
月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼、鋼矢板、鋼管ぐい、鋼管 (全国)、異形棒鋼(北陸、中部、近畿、中国、四国の各都市)、ねじ節鉄筋(北陸、中部、近畿、中国、四国の各都市)、平鋼(全都市)、H形鋼(全都市)、等辺山形鋼(全都市)、リップ溝形鋼(全都市)、鋼板(全都市)、切板 (全都市)、コラム(全都市)、溶融亜鉛めっき鋼板(全地区)、摩擦接合用高力ボルト(全地区)、レディーミクストコンクリート (銚子、足立・葛飾、横浜、川崎A、新潟、紀美野、串本、高千穂)、コンクリート用骨材(岐阜、大垣、関、揖斐川)、仮設・土木用木材(全都市)、一般建築用木材(全都市)、北海道地区木材、沖縄地区木材、コンクリート型枠用合板(四国を除く全都市)、アスファルト混合物(高知、安芸、須崎、四万十)、ストレートアスファルト(全都市)、普通合板(全都市)、ガードレール(全地区)、ガードケーブル(全地区)、ボックスビーム(全地区)、ガードパイプ(全地区)、鋼製えん堤(全地区)、コルゲートパイプ(全地区)、ライナープレート(全地区)、配管用ステンレス鋼鋼管(全地区)、燃料油(全都市)、鉄スクラップ(九州地区を除く全都市)など	

・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

伸銅品(全都市)、銅スクラップ(全都市)など

2. 比較資料

・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	鉄スクラップの高値、継続上伸の影響で、「異形棒鋼」に代表されるいわゆる電炉製品価格の上昇や、「目先、強含みで推移の公算大(関東地区に対するコメント)」という状況となるのは理解し易い。それに加えて、高炉製品の鉄製品までもが、同様に上伸や、例えばH鋼の関東地区コメントのように「目先、強含みで推移の公算大」と評価コメントできる大きな理由は何か。	市場で流通している異形棒鋼は電炉製品だが、H形鋼は電炉製品と高炉製品が混在している。電炉製品の原料である鉄スクラップ、高炉製品の原料である鉄鉱石とも高値で推移していることが、H形鋼の市況上伸の主な要因である。また、建設向け需要は低調だが、自動車や家電向け需要は回復傾向にあり、鋼材全体としては需給がタイトな状況にあることも要因の一つである。
質問 2	600V ビニル絶縁電線の関東地区に対するコメントとして「目先、横ばいの公算が大きい」とある。一方、原材料に関する「銅建値の14か月ぶり前月比下落」、「伸銅品の下落」、「銅スクラップの下落」及び「業界紙の非鉄スクラップ(銅くず1号銅線)の下落」の情報を考慮すると、「下落の公算大」という評価も成り立ちそうである。目先動向予想という微妙な判断であるが、あえて「横ばいの公算大」とコメントした背景理由は何か。	絶縁電線の原材料に関する情報は、下落の傾向を示している。一方で、600V ビニル絶縁電線（電線類）は、メーカーや販売店が希望水準まで価格を上げきれていないため、原材料が下落となっても均衡状態が続き、横ばい推移の可能性が高いとした。
質問 3	伸銅品は、ここ数カ月上伸であったが、原料価格が下落した背景は何か。	メーカーは銅建値の動向で原料コストを随時見直しており、銅建値が中国の国家備蓄放出の発表などを背景に今月下落したため、原料価格も下落した。

質問 4	名古屋地区の軽量コンクリートが一度に 7,000 円の値上げが受け入れられた要因は何か。人工軽量骨材の価格は、静岡と名古屋地区で上昇しているが地域的な要因があるのか。	人工軽量骨材は、2社あったメーカーのうち1社が生産を中止した。生産中止したメーカーによる供給が多かった静岡、名古屋地区で、供給メーカー変更に伴う輸送コスト上昇を理由とするメーカーや販売店の値上げが浸透した。名古屋地区の軽量コンクリートは、協組が骨材価格の上昇などを理由に値上げを表明。特に採算が低かった規格の価格を大幅に引き上げた。供給メーカーが限られることなどから、需要家は最大7,000円の値上げ額を受け入れた。
質問 5	ガードパイプが全国的に値上がりしているのは、コメントにある通りメーカーの値上げの浸透によるものだと思うが、一部の製品が一部の地域で大幅な値上げになっているのはどのような理由か。	メーカーが生産コストを見直し、採算が特に低かった一部規格で大幅な値上げを行ったため、最小、最大の変動率に大きな格差が生じた。規格による変動率の格差が大きく、地区による変動率の格差はほとんど生じていない。
質問 6	H 形鋼で、値上げ額の一部が浸透とあるが、メーカーの値上げ額はいくらなのか。	メーカーによって値上げ額は異なるが、10,000円程度の値上げを唱えている。
質問 7	鉄スクラップは、国内電炉メーカーの鉄鋼生産量増で需給が引き締まり、電炉メーカーが購入価格を引き上げ、問屋筋が追従した結果、続伸とのコメントがあるが、九州地区のみ上昇しない理由は何か。少なくとも、今年1月以降は、九州地区も含めて全国的に上昇が続いており、九州地区のみこれまでと違う要因は何か。	今月変動した地区は 1,000 円程度の小幅上伸で、全国的に先月よりも緩やかな市況変動となっている。九州地区では、当該地区の主要電炉メーカーが1カ月前に提示した購入価格で必要量の鉄スクラップが確保されており、購入価格を引き上げなかったことなどから、横ばいとなった。

質問 8	鉄鋼・スクラップ系の資材が軒並み上昇している中、これらの資材が下落(横ばい)となった要因として、コメントにあるように、銅建値が14カ月ぶりに前月比下落となったことが影響していると思われる。銅建値が今月になって下落した理由を、他金属との比較も含めて、また今後の見通しについて知りたい。	銅建値について、銅価格の下がった大きな要因の一つは、中国の「国家備蓄を一部放出する」方針の発表がある。銅価格がコロナ禍からの景気回復や投機的な取引で急騰しており、中国当局は市場の過熱抑制を目指している。今後、長期的には、電気自動車の普及拡大やクリーンエネルギー向けなどでの需要増が予想されるが、短期的には世界的な投機対象となっていることなどから価格の見通しは難しい状況となっている。また、アルミ、亜鉛でも、中国の国家備蓄放出の動きがあるが、今のところ市況への影響は限定的である。銅と同じく先行きを見通すことは難しいが、今後も状況を注視したい。
質問 9	前月は「地場系の値動きが若干増えた」とのコメントであったが、今月は「地場系の値動きが減少した」となっている。全体の変動帯数が前月の94帯から106帯と増えている中で、地場の値動きが減少した要因は何か。	今月は、前月に比べ地場系資材であるコンクリート製品の値動きが少なく、前月17帯に対し今月は6帯の変動だった。需要閑散期で値動きが比較的少ないという季節的要因という面もある。
質問 10	コンクリート型枠用合板の四国地区も前月までは上昇基調にあったものの、今月、唯一上昇しなかった理由は何か。	四国地区においても流通筋は輸入価格の上昇分を販売価格に転嫁すべく需要家と値上げ交渉を実施している。需要家は当用買いに徹しており値上げは浸透せず、横ばいとなった。
質問 11	レディーミクストコンクリートの紀美野地区、次いで串本地区の上昇額が突出しているが、特に和歌山県内の価格上昇が著しい理由は何か。	紀美野地区は、隣接する和歌山地区で広域協組の値上げが浸透し2月に2,000円上伸しており、メーカーが和歌山地区と同水準での価格を目指し値上げを実施し、上伸した。串本地区は、すさみ串本道路向け需要が増えるなか、安定調達を優先した需要家が協組の値上げを受け入れ、上伸した。
質問 12	軽油がローリー渡しでリットルあたり105円と前月比6円上伸、レギュラーガソリンはスタンド渡しで140円と3円上伸したとのコメントがあるが、レギュラーガソリンよりも軽油の価格が安いにも関わらず、上伸額が倍になっている理由は何か。	燃料油は原油相場の上昇を背景に上伸したが、実需は依然として盛り上がりや欠いており、需給の影響を受けやすいスタンド渡しはローリー渡しに比べ小幅上伸となった。
審議結果	「建設物価」8月号、「Web 建設物価」	8月号の価格動向に問題はなかった。